

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>●研究の名称 脊柱変形手術における 2017 年度の合併症調査 - 日本側 彎症学会による報告</p> <p>●研究の対象 2017 年 1 月～2017 年 12 月に当院で脊柱変形手術を 受けられた方</p> <p>●研究の目的 2017 年度の脊柱変形手術の合併症調査を行い、近年の 合併症の動向を探ることである。 近年手術手技の向上および手術器械の発達により脊柱 変形の手術は増加傾向にある。また日本では未曾有の高齡 化社会を迎えており、合併症を有する高齡者の手術も増え ている。このような状況を踏まえ、継続的なデータの蓄積 及び開示を目的とし、日本側彎症学会は 2012 年に合併 症調査委員会を立ち上げた。これまでに学会主導で 2012 年度、2014 年度に調査を行い、その結果を報告してきた。 本研究ではその継続的な調査として、2017 年度の合併症 調査を行い、その動向を探ることにある。</p> <p>●研究の期間 許可されてから平成 31 年 3 月 31 日まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関である自治医科大学へのデータの提供は、 Excel ファイルで作成した調査票を E-mail で送る。</p>
<p>利用し、又は提供 する試料・情報の 項目</p>	<p>●研究に使用する試料・情報： 情報：調査票は Scoliosis Research Society（米国側彎症 学会、以下 SRS）の Morbidity &amp; Mortality Research（合</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	併症および死亡症例調査)の基本調査項目をベースとして作成し、日本の実用にあった変更を加えた調査票を使用する。調査項目は脊柱変形手術の対象症例と合併症数のみとして、個人の特定可能な情報を全く含まないものとする。
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 自治医科大学 整形外科講師 菅原 亮 日本側彎症学会 M&M 委員会委員長 高橋 淳
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 自治医科大学 整形外科講師 菅原 亮
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)	あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	診療科：整形外科 担当者：大和 雄 TEL：053-435-2299 FAX：053-435-2296 E-mail：yamato@hama-med.ac.jp
--	---